

MEAのコーティング方法

○ フィブロネクチンコート(心筋細胞)

使用試薬：Fibronectin (BD BioCoat™Fibronectin Cellware)

・フィブロネクチン溶液の調製

蒸留水あるいはPBSで溶かした1mg/mLフィブロネクチン溶液をストック溶液として4℃で保存します。このストック溶液から使用前に10µg/mLに希釈します。

・コーティング手順

- ① 10 µg/mL フィブロネクチン溶液をMEAディッシュの中心部に100 µL添加し、37℃で1時間インキュベーションします。
- ② 溶液をアスピレーターで除去し、PBSで2回洗浄します。
- ③ 培地に懸濁した細胞(2 x 10⁵個)を10-50 µL添加します。
- ④ インキュベーター内で1時間静置し、細胞をディッシュ上に接着させます。
- ⑤ MEAディッシュの外壁に沿って、ゆっくりと培地を1 mL加えます。

○ PDL-ラミニンコート(神経細胞)

使用試薬：Poly-D-Lysine(PDL), Laminin

・PDL溶液の調製

MilliQ-水で50 µg/mL PDL溶液を調製してください。この溶液は、4℃で2年間保存できます。※ご使用前に0.2 µmのフィルターに通してください。

・Laminin溶液の調製

PBSで20 µg/mL ラミニン溶液を調製してください。※ご使用前に0.2 µmのフィルターに通してください。

・コーティング手順

- ① 50 µg/mL PDL溶液をMEAディッシュ中心部に100 µL加えた後、5分間室温で静置します。
- ② PDL溶液を除去し、3回Milli-Q水で洗浄します。
- ③ 20 µg/mL ラミニン溶液をPDL処理したMEA表面に100 µL添加し、2時間室温で静置します。
- ④ ラミニン溶液を除去し、培地に懸濁した細胞(2 x 10⁵個)を80 µLをMEA上に添加します。
- ⑤ インキュベーター内で1時間静置し、細胞をディッシュ上に接着させます。
- ⑥ MEAディッシュの外壁に沿って、ゆっくりと培地を1 mL加えます。

※上記以外のコーティング方法

複数のコーティング剤の条件の提案をご用意できますので、お問い合わせ下さい。

バイオリサーチセンター株式会社 www.brck.co.jp sales@brck.co.jp



本	社	〒461-0001	名古屋市東区泉二丁目28-24 東和高岳ビル4F	TEL: 052-932-6421	FAX: 052-932-6755
東	京	〒101-0032	東京都千代田区岩本町一丁目7-1 瀬木ビル2F	TEL: 03-3861-7021	FAX: 03-3861-7022
大	阪	〒532-0011	大阪市淀川区西中島六丁目8-8 花原第8ビル2F	TEL: 06-6305-2130	FAX: 06-6305-2132
福	岡	〒813-6591	福岡市東区多の津一丁目14-1 FRCビル6F	TEL: 092-626-7211	FAX: 092-626-7315